

第5次宮代町総合計画

前期実行計画

(令和3年度～令和7年度)

令和7年度 下期進捗状況

前期実行計画事業 最終評価

第5次宮代町総合計画前期実行計画 令和7年度下期進捗状況一覧表

事業名	ページ	結果	令和7年度下期実施結果	担当
西原自然の森活用事業(里山体験事業編)	1	完了	・「西原自然の森フェスタ&M-1まつり」開催 ・社会福祉協議会を通じたイベント協力者の募集	環境資源課
西原自然の森活用事業(移築民家活用編)	3	完了	・旧進修館の特別公開の実施 ・旧加藤家住宅のモデル事業の実施	教育推進課
新しい村魅力アップ事業	5	完了	・機械庫外壁改修工事の実施 ・新しい村周辺農地の地権者意向調査の実施	産業観光課
集落で支えあう営農事業	7	完了	・整地工事、水路工事の発注、実施 ・宮東・中島土地改良組合役員会議の開催	
宮代農業人材育成事業	9	一部未完了	・農業担い手塾の新たな塾生の募集 ・「宮代町農業担い手塾入塾前研修」の実施	
東武動物公園駅西口わくわくロード事業	11	完了	・工事実施に向けた関係機関協議 ・わくわくロード整備工事の実施	まちづくり建設課
まちなかどこでもミュージアム事業	13	完了	・「みやしろ・アート・インフォメーション」による情報発信 ・「みやしろ芸術祭」の開催	教育推進課
みやしろズームアッププロジェクト	15	完了	・月イチまんまる出店や「みやしろ缶バッジ」による魅力発信 ・特派員のスキルアップのための情報交換会の開催	総務課
遊休資源活用プロデュース事業	17	完了	・庁舎内スペースの有効活用 ・官民連携情報の更新	企画財政課
岸遊歩道整備事業	19	完了	・備前堀川入道橋付近の遊歩道整備工事の実施 ・岸遊歩道フェンス撤去、設置工事の実施	まちづくり建設課
地域のオリジナルパークをつくろう!	21	完了	住民主体による施設整備後の公園を使ったイベントの開催、アンケートによる評価検証実施(学園台けやき公園、宮代台中央公園)	未来のまち整備課
宮代型デマンド交通事業	23	完了	・高齢者等タクシー助成券の交付 ・地域公共交通会議にて調査結果の時点報告の実施	企画財政課 健康介護課
広域道路ネットワークの整備(都市計画道路整備)	25	一部未完了	・春日部久喜線(町道第12号線)の用地交渉の実施 ・春日部久喜線(町道第252号線)の用地交渉の実施	まちづくり建設課
東武動物公園駅東口にぎわいロード事業	27	完了	・東武動物公園駅東口駅前広場の用地交渉の実施 ・取得用地の仮舗装工事の実施	
和戸駅周辺活性化事業	29	完了	・土地利用推進エリアの見直し(拡大)の実施 ・産業系の土地利用を目指した企業ヒアリングの実施	未来のまち整備課
姫宮駅西側周辺活性化事業	31	完了		
地域の力となる地区コミュニティセンター事業	33	完了	・町内全地区の区長訪問による地域の現状把握と活動支援 ・地区コミセンの開設に向けたアンケート調査の実施	地域支援課
小商いからはじめようチャレンジショップ推進事業	35	完了	・ライフステージに合わせた起業創業支援講座の開催 ・各種補助金による起業創業支援	産業観光課
身近な場所で子育てサロン事業	37	完了	・補助制度による子育て応援隊の自主的なサロン開催支援 ・子育て情報サイト「育てよっ」やSNSの情報更新	子育て支援課
地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業①	39	完了	・補助制度による地域団体主体の居場所づくり活動支援 ・子育て情報サイト「育てよっ」での地域団体情報の紹介	
地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業②	41	完了	・関係機関との情報交換、情報共有による連携強化 ・利用者の実態やニーズに合わせた支援の実施	教育推進課
進修館オープンカレッジ	43	完了	後期実行計画事業「地域の力となる地区コミュニティセンター事業」へ引継ぎ	地域支援課
おかえりなさい!地域デビュー事業	45	完了	・シニアはじめて講座「買い物支援勉強会」の開催 ・緑じよいメンバーの企画による住民主体の交流会の開催	健康介護課
西原自然の森活用事業(新たな福祉の拠点づくり編)	47	完了	・ボランティアや見守りサポーターの育成、確保 ・西原自然の森フェスタ&M1まつりの開催	福祉課
若い世代の健康づくり促進事業	49	完了	・親子向けレシピ更新、家庭における献立作成のレシピ配布 ・若い世代の健康づくりに関するアンケート調査の実施	健康介護課
人権・平和推進事業	51	完了	・町職員や教職員を対象とした人権教育研修会の実施 ・平和への意識を高めるための講演会開催	総務課 教育推進課
チームみやしろ会議	53	完了	・「この人の話が聞きたい」の定期的な開催 ・会議をきっかけとした新たな活動の実例調査と紹介	企画財政課
みんなが備える防災力強化促進事業	55	完了	・職員を対象とした災害対策本部運営訓練の実施 ・自主防災組織活動状況調査、訓練実施の促進	くらし安全課
高齢者困りごとサポート隊事業	57	完了	・補助制度による困りごとサポート隊の活動支援 ・買い物支援勉強会の開催	健康介護課
日工大サイエンスプロジェクト	59	完了	・日本工業大学での小学校6年生向け講義、見学等実施 ・日本工業大学での中学校2年生向け講義、体験実施	教育推進課
公共施設マネジメント計画2.0	61	完了	・公共施設の更新や再編検討に向けた関係部署ヒアリング ・公共施設の大規模修繕や維持管理に向けた予算措置	企画財政課
宮代町立小中学校適正配置事業	63	完了	・実施設計の作成、建設工事発注計画や申請手続き準備 ・校舎一部解体に伴うエアコン設置等の改修工事実施	教育推進課

完了=30事業(93.7%) 一部未完了=2事業(6.3%)

全32事業

西原自然の森活用事業（里山体験事業編）

環境資源課

企画趣旨

山崎山で市民団体とともに培った、事業や活動のノウハウと経験を活かし、西原自然の森においても、自然の魅力や大切さを知る体験事業や保全事業を市民とともに実施します。これにより、町の自然を守り育て、その魅力を発信する人材を生み出します。

[移築民家活用編、新たな福祉の拠点づくり編との連携事業]

成果目標（令和7年度までに）

新規ボランティアスタッフの確保 10人以上

里山体験イベントの実施 年3回以上、参加者100人以上

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. コンセプトづくり	環境資源課 ボランティア等	→				
2. 協力者確保	環境資源課	→				
3. イベント実施	環境資源課 ボランティア等		→			
4. 環境整備・管理	環境資源課 ボランティア等		→			
5. 情報発信	環境資源課	→				

■工程の見直し（令和5年度）

組織改編により、事業の実施主体を町民生活課から環境資源課へ変更しました。

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	(1) 協力者確保 (2) イベント実施 (3) 環境整備・管理 (4) 情報発信 市民協力者や関係他課等との協働・連携により、「西原自然の森フェスタ&M-1まつり」を開催し、竹を活用したイベントを行うとともに、西原自然の森の魅力発信を行います。	(1) 協力者確保 (2) イベント実施 (3) 環境整備・管理 (4) 情報発信 西原自然の森フェスタ&M-1まつりのイベント開催を通じて、日工大の学生ボランティアと関係性を築くことができました。 協力者との協働により「西原自然の森フェスタ&M-1まつり」（11月16日）を開催し約1000人が参加しました。そのうち約120人が、竹を活用したあそび（竹水鉄砲、竹はしご、竹ぼっくり、竹ドラム・竹マラカス製作）を体験しました。また、広報1月号にて開催報告を行い、西原自然の森の魅力を発信しました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・西原自然の森の竹林を活かした各種イベント（自然観察会、竹クラフト制作、竹灯ろう制作&展示、竹あそび、コンサートなど）を、山崎山保全ボランティアほか市民協力者と共に企画・運営しました。 ・日本工業大学の学生ボランティアと新たな関係性が構築でき、イベント参加者へ西原自然の森の魅力を伝えることができました。

成果指標	目標値（R7年度末）	実績値（R7年度末）	達成度 ※
新規ボランティアスタッフの確保	10人以上	24人	S
里山体験イベントの実施	年3回以上、参加者100人以上	R3年度：1件（80人） R4年度：2件（460人） R5年度：1件（160人） R6年度：1件（50人） R7年度：1件（120人） 合計：6件（870人） 達成度：(40%+100%) /2	B

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

企画趣旨

福祉拠点として再整備される旧ふれ愛センターとともに西原自然の森の魅力を高めるため、「旧加藤家」「旧齋藤家」「旧進修館」を古い建物の特性を生かした美術作品の展示や音楽活動などの文化活動や体験講座、地域活動ができる場所とします。

[里山体験事業編、新たな福祉の拠点づくり編との連携事業]

成果目標（令和7年度までに）

新たな仕組みに基づく新規事業 年3回以上

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. モデル事業の実施	教育推進課	→				
2. 仕組みづくりと運用準備	教育推進課		→			
3. 活用支援	教育推進課			→		

■工程の見直し（令和5年度）

新たな仕組みづくりを慎重に行うため、実施項目1「モデル事業の実施」と実施項目2「仕組みづくりと運用準備」の期間を1年間延長しました。

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)仕組みづくりと運用準備 旧進修館の内部の見学が定期的に行えるよう、「西原自然の森フェスタ&M-1まつり」に合わせて公開日を設定します。また、その状況を踏まえながら、必要に応じて運用方法の再整理を行います。</p> <p>(2)活用支援 文化財を守りながら活用していくため、引き続き、旧加藤家住宅において新規事業の実施希望が出された場合には、解決策や注意点などをまとめたマニュアルに基づき、希望者と実施に向けた確認や調整を行います。また、モデル事業を主催し、活用のアイデアとして提供していきます。</p>	<p>(1)仕組みづくりと運用準備 11月16日に開催された「西原自然の森フェスタ&M-1まつり」において、旧進修館の特別公開を行いました。10時半から2時間の公開でしたが、78名の見学者がお越しになりました。 次年度以降も、引き続き特別公開の日を設け、必要に応じて運用方法の再整理を行っていきます。</p> <p>(2)活用支援 モデル事業として、11月29日に旧加藤家住宅において、町の偉人島村盛助の作品を使用した「ひとりごたり『村の寶』」を開催し、21名の参加がありました。 移築復元後30年以上が経過していることもあり、今後も引き続き文化財を保存しながら活用していくために必要な措置をとりながらも、モデル事業などを通して活用を進めていくためのアイデアを提供していきます。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了	

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・旧進修館の特別公開：大型文化財の保管庫としての収蔵展示状況を公開し、学校校舎の雰囲気を感じながらも、古い道具類などを見学していただき、郷土の歴史や民俗に興味を持っていただくことができました。 ・旧加藤家住宅：活用のためのモデル事業を実施し、あわせて活用マニュアルの作成・修正を行いました。 ・複数課合同で西原自然の森フェスタを開催することにより、住民の来場のきっかけづくりが行うことができました。 ・指定文化財としての価値を再認識していただくことができ、文化財保護意識を高めていただく機会となりました。

成果指標	目標値（R7 年度末）	実績値（R7 年度末）	達成度 ※
新たな仕組みに基づく新規事業	年3回以上	R6 年度：1 件 R7 年度：0 件 ※新たな仕組み（マニュアル）作成後の活動を実績とする。	D

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

企画趣旨

「新しい村」を整備してから約 20 年。直売施設の増加やインターネット販売の普及など取り巻く状況も大きく変わりました。着地型観光という視点も含めて、調査・分析を行い、「新しい村」の魅力を高める計画を策定し、「新しい村」をより魅力的な空間へと変えていきます。

成果目標（令和 7 年度までに）

新しい村魅力アッププランの策定

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 新しい村の現状分析・課題整理	産業観光課 新しい村	→				
2. 持続可能な経営モデルの調査研究	産業観光課		→			
3. 新しい村周辺農地の地権者意向調査と必要な土地の取得	産業観光課		→			
4. 新しい村魅力アッププランの策定	産業観光課		→			
5. 新しい村魅力アッププランの実行（農業教育・研修機能の検討、直売所機能の強化、情報発信機能の強化）	産業観光課 新しい村			→		

■工程の見直し（令和 5 年度）

新しい村魅力アッププランの策定が完了したため、実行にあたり実施項目 3「新しい村周辺農地の地権者意向調査と必要な土地の取得」の期間を 2 年間延長するとともに、実施項目 5 に新たな取組を追加しました。

進捗状況（令和 7 年度）

	実施予定	実施結果
下期	(1)新しい村周辺農地の地権者意向調査と必要な土地の取得 上記改修方針及び事業計画に基づき、土地所有者及び関係機関と活用の可能性について調整を行います。	(1)新しい村周辺農地の地権者意向調査と必要な土地の取得 地権者へ調査を実施し、意向を確認しました。また、新規建設予定の施設については、町有地に建設するものとして整理しました。
	(2)新しい村魅力アッププランの実行 機械庫外壁改修工事を行います。 また、「新しい村魅力アッププラン」に基づく改修方針及び事業計画を作成するとともに、財源確保に向けた国や県との調整及び申請を行います。	(2)新しい村魅力アッププランの実行 機械庫外壁改修工事を実施しました。また、新しい村改修における方針及び事業計画について作成を行いました。財源確保として国に申請している地域未来交付金については、現在採択待ちとなっています。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・新しい村魅力アッププランを策定（令和5年3月）。 ・新しい村魅力アッププランに基づく既存施設等改修概略設計の完了。 ・育苗施設機械設備更新工事、機械庫外壁改修工事を実施。

成果指標	目標値（R7年度末）	実績値（R7年度末）	達成度 ※
新しい村魅力アッププランの策定	策定	策定	S

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

企画趣旨

農業を次世代の担い手にとって魅力ある産業としていくために、農業生産の効率化・省力化を図るとともに、農地集積化を推進し、農作業環境の向上を図ります。

成果目標（令和7年度までに）

宮東・中島地区における20ha以上の農地集積化と基盤整備(100%)

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 現地調査	埼玉県 産業観光課 地権者	→				
2. 事業計画策定及び地権者同意	埼玉県 産業観光課 地権者		→			
3. 用地測量及び実施設計	埼玉県 産業観光課				→	
4. 整地工事	埼玉県 産業観光課					→

■工程の見直し（令和5年度）

地権者の理解促進や合意形成に時間を要したため、工程の全体的な繰り下げを行いました。

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	(1)用地測量及び実施設計 (2)整地工事 令和7年度から3か年で工事実施予定とし、令和7年度工区の工事に着手します。 引き続き、宮東・中島土地改良組合の役員会を開催し、事業の調整・推進に努めます。	(1)用地測量及び実施設計 (2)整地工事 埼玉県春日部農林振興センターにて工事を発注し、令和7年10月より工事に着手しました。 整地工事、水路工事など進めていますが、令和8年度の耕作に影響のない範囲で一部繰り越してなっています。 また、上期に引き続き、宮東・中島土地改良組合の役員会を4回開催し、事業の調整・推進に努めました。3月14日には通常総会を開催し、参加者29人に、令和7年度工事の状況及び今後の予定を説明し、情報の共有に努めました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・準備委員会（令和3～5年度）：全17回 ・宮東・中島土地改良組合設立総会：令和6年3月16日 ・役員会（令和6～7年度）：全14回 ・通常総会（令和6～7年度）：全2回 ・測量設計（実施設計、基準点測量、用地測量）、16.8haの整備工事の実施 ・道路拡幅に伴う用地買収等調印式及び登記手続き ・農地中間管理事業による耕作者への農地集積 ・事業を通じて、農地集積化を推進し、農作業環境の向上を図りました。

成果指標	目標値（R7年度末）	実績値（R7年度末）	達成度 ※
宮東・中島地区における 20ha以上の農地集積化と基 盤整備(100%)	20ha以上の農地集積化と 基盤整備(100%)	46.1haの農地集積化 16.8haの基盤整備	A ※(100%+84%)/2

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

企画趣旨

就農希望者のための実践的な研修環境を整え、将来の宮代農業を支える骨太な若手農業者を育成します。

成果目標（令和7年度までに）

新規就農者の確保 5人以上

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 事業計画の策定	産業観光課	→				
2. 就農希望者の受入	産業観光課	→				
3. 農業用栽培施設レンタル制度の創設	産業観光課 新しい村		→			
4. みやしろ型市民農業大学の実施	産業観光課			→		

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)就農希望者の受入 農業担い手塾で新たな就農希望者を受け入れるため、引き続き、ホームページに募集要項を掲載して周知を行います。また、入塾申請のあった方に対する入塾審査を実施し、入塾許可となった場合には、実践研修の準備を進めます。</p> <p>(2)みやしろ型市民農業大学の実施 農作業や栽培経験の少ない入塾希望者から申請があった場合には、「宮代町農業担い手塾入塾前研修制度」に基づき農家実習形式による受入れを行います。</p>	<p>(1)就農希望者の受入 農業担い手塾の新たな塾生を確保するため町ホームページに募集要項を掲載して募集を行いました。就農希望者からの入塾申請はありませんでした。</p> <p>(2)みやしろ型市民農業大学の実施 経験が少ないことから入塾前研修を希望した入塾希望者について審査を行ったところ、入塾前研修の受入れを決定しました。</p>
	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了	

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・担い手塾を卒業し、宮代町で新たに営農を開始した新規就農者 2人 ・農業担い手塾入塾前研修制度の創設、入塾前研修制度を活用し担い手塾へ入塾した研修生 1人 ・事業を通じて、就農希望者のための実践的な研修環境を整え、新規就農者を育成しました。

成果指標	目標値（R7年度末）	実績値（R7年度末）	達成度 ※
新規就農者の確保	5人以上	2人	C

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

東武動物公園駅西口わくわくロード事業

まちづくり建設課

企画趣旨

駅から東武動物公園、新しい村までを、町民・観光客・事業者と共にアイデアを出し合いながら、歩いて楽しく、わくわくするような道に整備し、西口エリアの価値を高めます。あわせて、駅西口区画整理エリアの土地活用を促進します。

成果目標（令和7年度までに）

東武動物公園駅西口わくわくロードの完成（100%）

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）					
		R3	R4	R5	R6	R7	
1. 市民参加によるコンセプトの決定	まちづくり建設課	→					
2. 概略設計・整備エリア決定	まちづくり建設課		→				
3. 関係機関協議	まちづくり建設課		→				
4. 実施設計	まちづくり建設課			→			
5. わくわくロード整備工事	まちづくり建設課				→		

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	(1)関係機関協議 工事実施にあたり関係機関との協議を行います。	(1)関係機関協議 工事実施にあたり関係機関との協議を行いました。
	(2)わくわくロード整備工事 イルミネーションなどの景観整備工事を発注します。	(2)わくわくロード整備工事 イルミネーションを含め、フラッグやベンチ等の景観整備工事を発注し、完了しました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり検討会を実施（6回）し、市民参加により整備コンセプト「公園のようなコミュニティ道路」を決定しました。 ・整備コンセプトに基づいた「空間デザイン社会実験」、「回遊性向上社会実験」、「交通社会実験」を実施し、工事設計に反映しました。 ・道路空間に公園の要素を取り入れたデザインの工事（デザインマンホール、街路灯フラッグ、イルミネーション、ベンチ）を実施し、西口エリアの景観や価値の向上が図れました。

成果指標	目標値（R7年度末）	実績値（R7年度末）	達成度 ※
東武動物公園駅西口わくわくロードの完成（100%）	完成（100%）	完成（100%）	S

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

企画趣旨

既存施設や飲食店など、気軽に美術作品の展示や小さな演奏会ができるスペースを募集し、まちなかにおける作品展や音楽会の開催を促します。このことで地域の人材を発掘し、地域に人々の集まる新しい場所を生み出します。

成果目標（令和7年度までに）

飲食店等やアーティストが主体となった「みやしろ芸術祭」の開催 年1回以上

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 飲食店などで行う作品展や演奏会の実施方法の検討	教育推進課	→				
2. アーティストと飲食店等のアート活動サポート	教育推進課		→	→	→	→
3. みやしろ芸術祭の開催	教育推進課 参加者			→	→	→
4. みやしろ芸術祭の実施方法の検証と見直し	教育推進課			→	→	→

■工程の見直し（令和5年度）

イベントの名称が決定したため、「(仮称) アートウィーク」を「みやしろ芸術祭」に変更しました。
また、アーティストや飲食店等の主体的な活動を継続的に支援し、地域の人材発掘や賑わい創出につなげるため、実施項目2を「アーティストと飲食店等のマッチング」から「アーティストと飲食店等のアート活動サポート」へ変更しました。

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)アーティストと飲食店等のアート活動サポート 引き続きアート活動をサポートする情報を更新しながら、町ホームページやSNSを通して発信していきます。</p> <p>(2)みやしろ芸術祭の開催 (3)みやしろ芸術祭の実施方法の検証と見直し 11月1日から「みやしろ芸術祭」を開催します。 「みやしろ芸術祭」の開催を振り返り、実施方法の検証と令和8年度に向けた方向性を検討します。</p>	<p>(1)アーティストと飲食店等のアート活動サポート みやしろ・アート・インフォメーションにて町内外の作品展や演奏会などのアート情報(17件)を発信しました。</p> <p>(2)みやしろ芸術祭の開催 (3)みやしろ芸術祭の実施方法の検証と見直し 「みやしろ芸術祭」の開催に向けて、参加者等の募集を行い、発表会のリハーサルや開催情報の発信などの準備を進めました。 また、主催者が主体的・自主的に行う発表会などに対して会場費等を補助するパートナーシップ補助金(12件)の活用があり、新規事業を行う団体も増えました。</p>

	実施予定	実施結果
下期		<p>発表部門や展示部門、華道展など各部門とも概ね円滑に実施できました。展示作品や華道の出展数は増加（展示：38 作品→50 作品、華道：19 杯→24 杯）。また、パートナーシップ補助事業による新たな活動主体の参画や他課との連携による自律協働型運営の進展を図ることができました</p> <p>一方で、出演者の固定化・高齢化への対応、展示会場の照度、補助金制度運用の見直しなど新たな課題も出てきたため、次年度に向けて改善をしていきたいと考えています。</p>
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・みやしろ・アート・インフォメーションを中心としたアート情報の発信基盤の整備 ・みやしろ芸術祭での、多様な表現(音楽・舞踊・美術等)の発表・鑑賞・体験機会を創出 ・「みやしろ芸術祭パートナーシップ補助金制度」の創設により市民主体のアート活動をサポート以上を通じて、地域の人材発掘、地域の賑わいを創出しました。

成果指標	目標値（R7 年度末）	実績値（R7 年度末）	達成度 ※
飲食店等やアーティストが主体となった「みやしろ芸術祭」の開催	年 1 回以上	R5 年度：1 回 R6 年度：1 回 R7 年度：1 回	S

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

企画趣旨

町の魅力の情報発信力向上を図るため、地元の魅力を再発見し、掘り下げ、自らの言葉で発信する人材を生み出します。

成果目標（令和7年度までに）

地域特派員 10人

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1.「みんなが地域の特派員」制度の創設	総務課	→				
2.みやしろ再発見ワークショップの開催	総務課	→				
3.「みんなが地域の特派員」制度の周知と制度参加者の拡大	総務課	→				

■工程の見直し（令和5年度）

制度の名称が決定したため、（仮称）を削除しました。

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)みやしろ再発見ワークショップの開催 宮代町の魅力を発信する公式ハッシュタグ『#みやしろまち』や『みやしろ一かる』を広めるため、町や民間団体等で開催するイベントでワークショップ等を実施します。</p>	<p>(1)みやしろ再発見ワークショップの開催 民間団体主催の月イチまんまるに出店し、ワークショップを開催し、公式ハッシュタグ『#みやしろまち』や『みやしろ一かる』をPRしました（12月・3月に1回ずつ実施）。</p> <p>また、町制施行70周年記念のロゴマークや町の資源・事業などをイラスト化した「みやしろ缶バッジ」を作成し、ワークショップ会場や無印良品店内にカプセルトイの機器を設置・頒布することで、町の魅力を広く発信することができました。</p> <p>特に、70周年記念ロゴマークを活用したマンホールカードの配布に合わせて、マンホール柄の缶バッジも作成・頒布することで、町外の方にも広く宮代町をPRすることができました。（頒布個数 下期2,405個）</p>
	<p>(2)「みんなが地域の特派員」制度の周知と制度参加者の拡大 特派員と毎月の情報交換会で意見交換しながら、みんなが地域の特派員制度を推進するとともに、広報やSNSでの情報発信に努めます。</p> <p>また、特派員自身による撮影技術等の発表会や技術向上のための研修会を開催し、制度の充実を図ります。</p>	<p>(2)「みんなが地域の特派員」制度の周知と制度参加者の拡大 特派員が作成した記事（下期 19件、年間 33件）と動画（下期 58件、年間139件）をそれぞれ町ホームページとで紹介、動画はYoutube に公開しました。</p> <p>特派員の情報交換会（毎月1回）にて、スキルアップのための情報交換会を行うとともに、映像コンテンツ作成会社から講師を招いて研修会を開催しました。研修会には特派員以外の一般参加者も広報紙で募集し、新たな人材確保に努めました。</p>
		<p><input checked="" type="checkbox"/>完了 <input type="checkbox"/>一部未完了 <input type="checkbox"/>未完了</p>

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ SNSを活用した写真コンテストを開催することで、「#みやしろまち」を広めました。 ・ みんなが地域の特派員制度を創設し、YouTube への動画投稿、広報みやしろの写真記事を掲載することで、町の魅力を PR しました。また、ハンドブックの整備や研修会の実施により制度参加者の拡大に努めました。 ・ みやしろ再発見ワークショップの開催や月イチまんまるに出店し、「教えてあなたのみやしろーかるすぽっと★」、「缶バッチでアーティストになろう」を実施し、町の魅力の発信・発信を行いました。 ・ 町の資源や事業などをイラスト化した「みやしろ缶バッジ」を作成・頒布しました。町の魅力の発信を行うとともに、歳入確保（約 98 万円）に繋がりました。 ・ 町の魅力を発信する新たなツールとして、Instagram を令和 5 年 12 月に開設しました（フォロワー約 1,100 人）。 ・ みやしろ缶バッジの頒布やホワイトタイガーの特別住民票の発行は多くのマスコミに取り上げられ、メディア掲載を通じて町の魅力を効果的に発信することができました。

成果指標	目標値（R7 年度末）	実績値（R7 年度末）	達成度 ※
地域特派員	10 人	11 人	S

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

企画趣旨

官・民を問わず、それぞれが所有する土地や施設などの遊休資源と人・団体等を結びつけ、町の様々な場所での活動の拠点づくりを行います。提案に対する場所の募集と場所に対する提案の募集の2つを柱として行います。

成果目標（令和7年度までに）

活用実績 10件

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 普通財産カルテの作成	企画財政課	→				
2. 庁舎の遊休スペース活用計画の作成	企画財政課		→			
3. 活用事業の実施	企画財政課		→			
4. 民間施設の活用事例の収集・公表	企画財政課	→				

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)活用事業の実施 引き続き、各課と連携して庁舎内スペースの活用事業を行います。 また、宮代町公有財産利活用方針に基づき、活用・売却検討のための関係課との調整を進めます。</p> <p>(2)民間施設の活用事例の収集・公表 引き続き、実行計画事業等における民間施設との連携や遊休スペースの活用事例を収集し、町ホームページにて公表している民間事業者等との連携状況の更新準備を行います。</p>	<p>(1)活用事業の実施 庁舎内スペースの活用希望を定期的に取りまとめ公開し、活用機関の調整及び庁内の情報共有を行いました。また、庁舎内の有料広告スペースについても引き続き更新していただけるよう通知を送付しました。</p> <p>(2)民間施設の活用事例の収集・公表 実行計画事業等における民間施設との連携や遊休スペースの活用事例を整理し、町ホームページにて公表している民間事業者等との連携状況を更新しました。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了	

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎内スペース活用を取りまとめることにより可視化、各課調整等の最適化 ・庁舎有料広告スペースを移設することによる広告主の増加 ・公有財産利活用方針及び庁舎遊休スペース活用計画に基づき、遊休資源活用に努めました。 	

成果指標	目標値（R7 年度末）	実績値（R7 年度末）	達成度 ※
活用実績	10 件	39 件	S

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

企画趣旨

備前堀川等において、自治会や地域の関係団体などと共にアイデアを出し合い、地域に親しまれ愛される遊歩道や水辺を整備します。

成果目標（令和7年度までに）

公園・遊歩道の整備 満足度 50% ※住民意識調査 令和元年度 43.6%

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 市民参加による岸辺遊歩道等の整備方針の検討	まちづくり建設課	→				
2. 備前堀川等の遊歩道整備	まちづくり建設課		→			
3. 既存遊歩道の整備	まちづくり建設課		→			
4. 古利根川の活用促進に合わせた良好な水辺空間の創出の検討	まちづくり建設課 産業観光課	→				

■工程の見直し（令和5年度）

県事業（和戸踏切立体交差事業及び人道橋整備）と足並みをそろえることが合理的なため、実施項目1「市民参加による岸辺遊歩道等の整備方針の検討」期間を1年間延長しました。

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	(1)備前堀川等の歩道整備 (2)既存遊歩道の整備 備前堀川人道橋整備に支障とならない踏切より下流の遊歩道整備工事を完了させます。 備前堀川等の遊歩道、健康マツ歩などの既存遊歩道の維持管理を行います。	(1)備前堀川等の歩道整備 (2)既存遊歩道の整備 岸辺遊歩道舗装整備工事を実施しました。 また、岸辺遊歩道フェンス撤去・設置工事を実施しました。
	(3)古利根川の活用促進に合わせた良好な水辺空間の創出の検討 杉戸町や民間事業者等と連携し、古利根川の水辺空間の活用を推進します。	(3)古利根川の活用促進に合わせた良好な水辺空間の創出の検討 杉戸町や民間事業者等と連携し、古利根川の水辺空間の活用を推進しました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果

- ・地元との意見交換会の実施により、整備方針を決定→地域に親しまれ愛される遊歩道や水辺の整備を目指すことが出来ました。
- ・備前堀川のフェンス設置、舗装修繕→工事によって、水辺空間の景観を向上させ、地域の魅力向上を図りました。

成果指標	目標値（R7 年度末）	実績値（R7 年度末）	達成度 ※
（住民意識調査） 公園・遊歩道の整備 満足度	50% ※令和元年度住民意識調査（43.6%）	44.5% ※令和 6 年度住民意識調査	D

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

地域のオリジナルパークをつくろう！

未来のまち整備課

企画趣旨

身近な街区公園等を一律に“児童公園”として位置付けるのではなく、人々のライフスタイルに合わせて、それぞれが特色のある“場”となるように再整備し、地域の人が集まる憩いの場（青空カフェ、移動販売、健康づくりパークなど）を地域の皆さんとともにつくりあげます。

成果目標（令和7年度までに）

公園の整備 2か所

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. モデル公園検討	未来のまち整備課	→				
2. 公園整備計画検討・策定	未来のまち整備課		→			
3. 公園整備	未来のまち整備課			→		
4. 事業実施	未来のまち整備課				→	
5. 評価検証	未来のまち整備課					→

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	(1) 事業実施 (2) 評価検証 施設整備後のそれぞれの公園に合わせ、住民主体によるイベントやアンケートを行います。 ・ 学園台けやき公園 イベント実施（11月予定） ・ 宮代台中央公園 アンケート実施（11月予定）	(1) 事業実施 (2) 評価検証 施設整備後のそれぞれの公園に合わせ、住民主体によるイベントやアンケートを実施しました。 ・ 学園台けやき公園 イベント実施（11月9日、約70名） ＊雨天のため日本工業大学学友会館で一部開催 ・ 宮代台中央公園 アンケート実施（11月、88世帯回答）
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・モデル公園ごとに、地域や大学等と連携をとりながら、ワークショップや社会実験等を行い、地域が求める公園の整備や活用方法について検討しました。 ・検討を基に、地域の人が集まる憩いの場となるよう学園台けやき公園と宮代台中央公園を再整備し、公園づくりを通じた地域コミュニティの活性化を図りました。 ・今後も、地域の公園として地域主体で、引き続き公園活用をしていきたいとの声があがっています。

成果指標	目標値（R7 年度末）	実績値（R7 年度末）	達成度 ※
公園の整備	2 か所	2 か所	S

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

企画趣旨

循環バスのルートでないエリアや身体的な理由で循環バスが利用できない方の交通需要に対応するため、宮代町の地勢や特性に合ったデマンド交通を導入します。

成果目標（令和7年度までに）

高齢者が外出を控えている理由「交通手段がない」10%以下
 ※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 令和元年度 15.8%

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. タクシー助成制度の実証実験の実施	企画財政課	→				
2. 実証実験を踏まえた効果と課題の検証	企画財政課		→			
3. 循環バスの次期契約に向けた運行内容の見直し	企画財政課		→			
4. タクシー助成制度の本格実施、次期循環バスの運行	企画財政課 健康介護課			→		

■工程の見直し（令和5年度）

令和5年度からタクシー助成事業が企画財政課から健康介護課に移管されたため、実施項目4の実施主体を追加しました。

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)タクシー助成制度の実施 引き続き、「高齢者等タクシー助成事業」を実施し、登録者に助成券を配布します。 また、公共交通需要調査の結果及び地域公共交通会議の検討内容等を踏まえながら、令和8年度の助成制度の検討を行い、変更がない場合は全登録者に対して助成券を配布します。</p> <p>(2)次期循環バスの運行 住民アンケートの集計、分析を行い、その結果を踏まえて区長を対象としたワークショップ（11月）を実施します。また、並行して駅や公共施設などの利用者にインタビューを実施します。 その後、アンケート調査やワークショップ、インタビュー等の実施結果をもとに、地域公共交通会議を開催し、結果の報告及び情報の共有等を行います。</p>	<p>(1)タクシー助成制度の本格実施 令和7年度は、新たに421人に助成券を発行し、令和3年度からの発行者数の累計は3,679人となりました（令和7年度における助成券の使用枚数の合計は36,763枚）。3月には全登録者に対し、令和8年度用の助成券（1人48枚）を送付しました。 地域公共交通会議を踏まえ、循環バスとともに今後の公共交通の在り方について検討するため、住民アンケートをはじめとした交通需要調査を実施しました。</p> <p>(2)次期循環バスの運行 区長・自治会長等を対象としたワークショップや、各公共施設利用者を対象にインタビューを実施したほか、公共交通の担い手である事業者にもヒアリング調査を実施し公共交通のあり方検討の基礎資料をとりまとめました。 2月には地区連絡会において調査結果の中間報告を実施し、3月には地域公共交通会議にて調査結果の時点報告を実施しました。</p>
		<p><input checked="" type="checkbox"/>完了 <input type="checkbox"/>一部未完了 <input type="checkbox"/>未完了</p>

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・循環バスの運行契約を令和5年度から2年間、令和7年度から3年間で締結しました。 ・次期交通モード検討に向けた公共交通需要調査を実施しました。 ・令和5年度よりタクシー助成制度を本格実施し、高齢者で交通手段がない方の交通手段の確保に努めました。

成果指標	目標値（R7年度末）	実績値（R7年度末）	達成度 ※
（介護予防・日常生活圏域二 ーズ調査） 高齢者が外出を控えている理 由「交通手段がない」の割合	10%以下	7.5%	S

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

広域道路ネットワークの整備（都市計画道路整備）

まちづくり建設課

企画趣旨

利便性の高い近隣市町への広域道路ネットワーク構築のため、都市計画マスタープランに基づく都市計画事業整備計画において優先順位を定め、計画的な整備を進めます。

成果目標（令和7年度までに）

- （都）春日部久喜線（町道第12号線）の整備完了
- （都）春日部久喜線（町道第252号線）の都市計画決定

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1.（都）春日部久喜線（町道第12号線）の整備	まちづくり建設課	用地買収			整備工事	
2.（都）春日部久喜線（町道第252号線）の延伸	まちづくり建設課					
3.（都）万願寺橋通り線（町道第75号線）の整備（設計）	まちづくり建設課					
4.（都）新橋通り線（町道第148号線）の整備	まちづくり建設課					

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	(1)(都)春日部久喜線(町道第12号線)の整備 用地交渉を進めます。また、姫宮交差点の詳細設計を実施します。	(1)(都)春日部久喜線(町道第12号線)の整備 用地交渉を進めました。
	(2)(都)春日部久喜線(町道第252号線)の延伸 新橋梁建設に向け、春日部市との調整を行うとともに、用地地権者と用地交渉を実施します。	(2)(都)春日部久喜線(町道第252号線)の延伸 春日部市と新橋梁建設の調整を行いました。また、用地地権者と用地交渉を実施しました。
	(3)(都)万願寺橋通り線(町道第75号線)の整備 須賀上交差点の改良案を作成し、関係機関と協議します。	(3)(都)万願寺橋通り線(町道第75号線)の整備 須賀上交差点の改良案を作成し、杉戸警察と協議しました。
	(4)(都)新橋通り線(町道第148号線)の整備 進捗状況を確認するとともに、早期完成に向けて、埼玉県と連携して事業を推進していきます。	(4)(都)新橋通り線(町道第148号線)の整備 進捗状況を確認し、埼玉県と連携して事業を推進しました。
		□完了 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未完了 □未完了

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・(都)春日部久喜線(町道第 12 号線)の用地買収の交渉を行い、買収できた箇所について工事を実施しました。 ・令和 4 年度に(都)春日部久喜線(町道第 252 号線)の延伸の都市計画決定を行い、用地買収を行いました。 ・(都)万願寺橋通り線(町道第 75 号線)の須賀上交差点の改良案を作成し、杉戸警察と協議を実施しました。

成果指標	目標値 (R7 年度末)	実績値 (R7 年度末)	達成度 ※
(都) 春日部久喜線 (町道第 12 号線) の整備完了	完了 (100%)	97%	A
(都) 春日部久喜線 (町道第 252 号線) の都市計画決定	決定 (100%)	決定 (100%)	S

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

企画趣旨

駅東口の地域の魅力とアクセス性を向上させるため、駅前広場や都市計画道路を一体的に整備し、他自治体と広域的につながるターミナルとしての機能を高めます。

成果目標（令和7年度までに）

東武動物公園駅東口駅前広場の完成（100%）

東武動物公園駅東口通り線の完成（100%）

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 物件調査（単価入替等）・鑑定評価	まちづくり建設課	→				
2. 用地交渉、用地・物件補償	まちづくり建設課	→				
3. 関係機関協議、実施設計、整備工事	まちづくり建設課		→			

■工程の見直し（令和5年度）

用地交渉の進捗により、工程の全体的な延長を行いました。

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	(1)物件調査（単価入替等）・鑑定評価 必要に応じて物件調査（単価入替等）を実施します。	(1)物件調査（単価入替等）・鑑定評価 鑑定評価を実施しました。
	(2)用地交渉、用地・物件補償 用地・物件補償額の概算額を提示し、契約に向けて交渉を進めます。	(2)用地交渉、用地・物件補償 用地・物件補償額の概算額を提示し、契約に向けて交渉を進めました。
	(3)関係機関協議、実施設計、整備工事 引き続き、関係機関との協議を実施します。 また、取得用地の適正管理に努めます。	(3)関係機関協議、実施設計、整備工事 関係機関との協議を実施し、取得用地の仮舗装工事を行いました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・単価入替を毎年実施し、適正な価格で売買交渉を実施しました。 ・先の物件調査、鑑定結果に基づき、売買契約を締結しました。 ・埼玉県、杉戸町と協議を行い、駅前広場整備工事の実施設計を完了しました。

成果指標	目標値（R7 年度末）	実績値（R7 年度末）	達成度 ※
東武動物公園駅東口駅前広場の完成（100%）	完成（100%）	36%	C
東武動物公園駅東口通り線の完成（100%）	完成（100%）	77%	A

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

企画趣旨

都市計画道路国納橋通り線や都市計画道路万願寺橋通り線の整備に合わせて、産業系土地利用を検討し、民間企業の立地誘導による地域の活性化を促進します。

成果目標（令和7年度までに）

- 土地利用・事業手法の決定
- 事業区域の決定

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 関係機関との調整	未来のまち整備課	—————▶				
2. 土地・権利者調査	未来のまち整備課	▶				
3. 事業化検討調査	未来のまち整備課		—————▶			
4. 地元調整・企業意向確認	未来のまち整備課		—————▶			

■工程の見直し（令和5年度）

継続的に事業エリアと手法等を検討するため、実施項目3「事業化検討調査」の期間を令和7年度まで延長することとしました。（期間の延長に伴い工程見直し前の実施項目「事業推進調査」を統合）

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下 期	<p>(1)関係機関との調整 産業系の土地利用を目指して、引き続き関係機関との協議を進めます。</p> <p>(2)事業化検討調査 産業系の土地利用転換の可能性について、引き続き調査・検討していきます。</p> <p>(3)地元調整・企業意向確認 産業系の土地利用を目指して、企業ヒアリングを行います。</p>	<p>(1)関係機関との調整 農用地の除外見込みや手続き等について調整を行いました。</p> <p>(2)事業化検討調査 産業系の土地利用転換の可能性について調査・検討し、土地利用推進エリアの見直し（拡大）を行いました。</p> <p>(3)地元調整・企業意向確認 産業系の土地利用を目指して、当該エリアを含む町内全域を対象に企業ヒアリング等を行いました。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了	

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業系の土地利用を目指し、関係機関との協議を進めました。 ・ 9社と企業ヒアリングを実施し、地元調整や企業意向の確認を行いました。

成果指標	目標値（R7年度末）	実績値（R7年度末）	達成度 ※
土地利用・事業手法の決定	決定（100%）	決定（100%）	S
事業区域の決定	決定（100%）	決定（100%）	S

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

企画趣旨

北春日部方面への都市計画道路の整備に合わせて、産業系土地利用を検討し、民間企業の立地誘導による地域の活性化を促進します。

成果目標（令和7年度までに）

（都）春日部久喜線（町道第252号線）の都市計画決定

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 関係機関協議、説明会開催	未来のまち整備課	→				
2. 都市計画決定手続き	未来のまち整備課	→				
3. 産業系土地利用及び立地誘導等の検討	未来のまち整備課			→		

■工程の見直し（令和5年度）

都市計画決定が完了し、工程見直し前の実施項目「用地・補償交渉」と「都市計画道路整備」については、前期実行計画「広域道路ネットワークの整備」において実施することとしました。

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	産業系土地利用及び立地誘導等の検討 産業系土地利用及び立地誘導等の検討を引き続き行います。	産業系土地利用及び立地誘導等の検討 産業系土地利用及び立地誘導等について、企業ヒアリング（9社）等を通じ、企業意向の確認、土地利用の検討を行いました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果			
・（都）春日部久喜線都市計画決定告示（令和4年11月11日）			

成果指標	目標値（R7年度末）	実績値（R7年度末）	達成度 ※
（都）春日部久喜線（町道第252号線）の都市計画決定	決定（100%）	決定（100%）	S

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

企画趣旨

地域コミュニティや地区・自治会のサポートをする地区担当者を配置します。また、その拠点として、既存の施設を（仮称）地区コミュニティセンターとして活用し、新たなつながりが生まれる場、地域における自治会活動や市民活動をサポートする場とします。

成果目標（令和7年度までに）

地区コミュニティセンターの開設 2か所

※開設にあたっては、前期実行計画「宮代町立小中学校適正配置事業（須賀小学校地域拠点施設整備）」の進捗に合わせて検討・準備を行うこととします。（令和5年度の工程見直しに伴い変更）

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 具体的な実施計画の作成	地域支援課 関係課	→				
2. モデル地区の選定と開設スケジュール等の作成	地域支援課		→			
3. 町内全地区の区長訪問を通じた地域支援	地域支援課			→	→	→
4. 地区コミセンの開設に向けた検討	地域支援課				→	→

■工程の見直し（令和5年度）

前期実行計画「宮代町立小中学校適正配置事業（須賀小学校地域拠点施設整備）」の進捗に合わせて地区コミセンを開設することが効果的であるため、連携を図りながら開設に向けた検討・準備を行うこととしました。また、地域における自治会活動や市民活動を支援するとともに、地域の現状や課題等を整理するため、役場庁舎を拠点として町内全地区・自治会を訪問し、意見交換や事業参加等を行うこととしました。

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	(1) 町内全地区の区長訪問を通じた地域支援 訪問事業で各地区・自治会の実情に応じた対応を行い、地区・自治会の活動支援を継続していきます。	(1) 町内全地区の区長訪問を通じた地域支援 全地区・自治会を対象に訪問事業を実施しました。地区・自治会事業（地域の祭り7カ所）に参加し、地域の方と情報交換をすることができました。また、その活動を町HPに掲載し、活動事例として発信しました。
	(2) 地区コミセンの開設に向けた検討 地区コミセンの開設に向けて、機能や役割などを整理し、運営方針を作成します。また、地域支援コーディネーターの育成や確保に向けた取組を行います。	(2) 地区コミセンの開設に向けた検討 地区コミセンの開設に向け、「地区・自治会に関する住民ウェブアンケート」を実施し、地区コミセンの住民認知度を調査しました。また、市民による地区コミセンの運営や、地域支援コーディネーターの確保を主旨として、市民との意見交換を行いました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度から全地区・自治会を対象に訪問事業を開始しました。 ・教育推進課、子育て支援課と合同でワークショップを開催しました。 ・地区コミセンについて須賀小学校地域拠点施設整備の基本設計、実施設計に反映しました。

成果指標	目標値（R7年度末）	実績値（R7年度末）	達成度 ※
地区コミュニティセンターの開設	2か所	0か所	D

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

小商いからはじめようチャレンジショップ推進事業

産業観光課

企画趣旨

宮代町での起業を促進するため、空き店舗や公共施設の空きスペース等をチャレンジショップとして、起業志望者に提供する仕組みづくりを行います。また、複数店が連続して空き店舗となったエリアについては、貸主などと連携して、特色のあるエリアの形成を促します。

成果目標（令和7年度までに）

町の支援策を利用した起業者 15人以上

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 起業創業支援講座の開催	産業観光課	月3万円ビジネス講座・創業セミナー				
		シニア創業セミナー				
2. チャレンジショップの开店準備	産業観光課	→				
3. チャレンジショップの運営	民間 産業観光課 商工会		→			
4. 起業創業準備支援	産業観光課	→				
5. 事業者の話を聞く会の開催	産業観光課		→			

■工程の見直し（令和5年度）

さらなる商業振興や人材発掘に多角的に取り組むため、実施項目1「起業創業支援講座の開催」において、月3万円ビジネス講座の実施期間の延長とシニア創業セミナーの追加を行いました。また、地域における未来の起業家を育成するため、実施項目5に「事業者の話を聞く会の開催」を追加しました。

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1) 起業創業支援講座の開催</p> <p>月3万円ビジネス講座及びシニア起業セミナーを開催し、今後の起業創業に結びつけます。また、講座実施後には参加者に対するアンケート調査を実施し、フィードバックを基に企画内容の見直しを検討します。</p>	<p>(1) 起業創業支援講座の開催</p> <p>「月3万円ビジネス講座」体験ワークショップを開催しました。(11月7日、35名参加) 12月から3月にかけて、6回連続講座を開催しました。(16名参加)</p> <p>地域連携による創業セミナーを10月から11月にかけて5回連続講座として開催しました。(4名参加)</p> <p>シニア起業セミナーを11月から12月にかけて開催しました。(11名参加)</p> <p>創業セミナー、起業セミナー受講者を対象として個別相談会を開催しました。(8名参加)</p> <p>各講座とも実施後にアンケートを行い、新年度の企画内容を検討しました。</p>
	<p>(2) チャレンジショップの運営</p> <p>民間が運営するシェアキッチンなどで実践経験を積んだ事業者や起業セミナー等の受講者に対して、引き続き情報提供を行います。</p>	<p>(2) チャレンジショップの運営</p> <p>「宮代で働こっ」などにより、チャレンジショップとして位置づけた民間運営のシェアキッチンなどの情報提供を実施しました。</p>

	実施予定	実施結果
下期	(3)起業創業準備支援 宮代町創業促進事業補助金制度、宮代町商工業活性化事業補助金制度（空き店舗活用事業）、宮代町マルシェ開催事業補助金制度による支援を実施します。	(3)起業創業準備支援 宮代町創業促進事業補助金制度、宮代町商工業活性化事業補助金制度（空き店舗活用事業）、宮代町マルシェ開催事業補助金制度に基づき補助金の交付を行いました。（それぞれ6事業者、2事業者、1事業者）
	(4)事業者の話を聞く会の開催 将来の起業家の芽を育てるため、町内中学校で「町内の事業者の話を聞く会」を開催します。	(4)事業者の話を聞く会 町内3中学校で事業者の話を聞く会を実施しました。須賀中では特別編として、宮代町外交官である國府田マリ子さんを講師に迎えて実施しました。（須賀中10月3日、前原中11月19日、百間中12月2日）
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・月3万円ビジネス講座や地域連携による創業セミナー、シニア起業セミナーを受講し、起業創業した数 ⇒ 29人 ・宮代町創業促進事業補助金制度の利用者数 ⇒ 24事業者 宮代町商工業活性化事業補助金制度（空き店舗活用事業）利用者数 ⇒ 2事業者 宮代町マルシェ開催事業補助金制度の利用者数 ⇒ 2事業者 ・事業者の話を聞く会の開催回数 ⇒ 町内中学校 各3回 ・講座やセミナーの開催、補助金制度による支援を通じて、宮代町での起業を促しました。

成果指標	目標値（R7年度末）	実績値（R7年度末）	達成度 ※
町の支援策を利用した起業家	15人以上	29人	S

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

企画趣旨

子育て中の方が孤立しないように、身近な飲食店や集会所等で地域の皆さんが実施する地域子育てサロンの開設・運営をサポートします。

成果目標（令和7年度までに）

地域主体の子育てサロンの運営 3か所以上

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 地域子育てサロンのモデル事業の実施	子育て支援課	→				
2. サロンの開設や運営のための支援策の検討	子育て支援課	→				
3. 地域主体の子育てサロンの運営開始	地域主体の子育てサロン			→		
4. 子育て情報サイトのリニューアル	子育て支援課			→		

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	(1)地域主体の子育てサロンの運営開始 補助金制度の周知を行い、親子の居場所として定期的に集まるサロン活動の支援を行います。	(1)地域主体の子育てサロンの運営開始 町ホームページにて補助金制度を周知するとともに、補助金の交付により親子の居場所として定期的に集まるサロンが実施されました。 ・ハコ Coffee Stand（10月～3月延べ85人） ・ワキアイアイサロン（11月・2月延べ17人）
	(2)子育て情報サイトのリニューアル 子育て情報サイト「育てよっ」や SNS 等を活用した子育て情報の発信を行います。	(2)子育て情報サイトのリニューアル 子育て情報サイト「育てよっ」や HP の更新を36回、SNS 投稿を27回行いました。 また、チラシや封筒等に「育てよっ」の QR を印字し、多くの方に HP の周知を行い、前年度より閲覧数が約3%増加しました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度に補助金制度を設け、町内で活動を行う7団体に交付しました。 ・子育てサロンとして町内で3団体活動中。 ・子育てサイトやInstagram等を活用し、サロン活動の周知や活動実績等を公開し、子育てサロンの定期的な開催を通して、子育て中の方の孤立予防に努めました。

成果指標	目標値（R7年度末）	実績値（R7年度末）	達成度 ※
地域主体の子育てサロンの運営	3か所以上	3か所	S

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

地域みんなで子どもたちの居場所づくり事業①

子育て支援課

企画趣旨

子どもが孤立しないための居場所づくりを行う人や活動を応援し、地域の人々が主体となった取り組みを広げます。また、学校に通えない児童生徒のために学外の間を整備し、心の居場所や学びの機会を提供します。

成果目標（令和7年度までに）

- 子どもの居場所づくり活動 3か所以上
- 子どもの居場所づくり活動のネットワークの構築

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 子どもの居場所づくりについて調査研究	子育て支援課 教育推進課	→				
2. 子どもの居場所づくりイベントの開催	子育て支援課	→				
3. 子どもの居場所づくり活動の支援策の検討	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等	→				
4. 子どもの居場所づくり活動を広げるフォーラム、体験事業の実施	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等		→			
5. 地域主体の居場所づくり活動支援	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等			→	→	→
6. 居場所づくり活動のネットワークの構築	子育て支援課 子どもの居場所活動団体等			→	→	→

■工程の見直し（令和5年度）

地域団体の自主的な取組を支援し地盤強化につなげるため、実施項目5に「地域主体の居場所づくり活動支援」を追加しました。また、団体同士のつながりを強化しネットワーク構築の準備・検討期間を十分に設けるため、実施項目6「居場所づくり活動のネットワークの構築」の期間を1年間延長しました。

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	(1)地域主体の居場所づくり活動支援 補助金制度の周知や社会福祉協議会との連携により、地域主体の居場所づくり活動を支援します。	(1)地域主体の居場所づくり活動支援 町ホームページにて補助金制度を周知するとともに、補助金の交付により地域主体の居場所づくりが実施されました。 ・辰新田「こども広場」（10月～3月延べ253人） ・かしんだま文庫「クリスマスリースづくり」（12月17人） ・かえでこども食堂（1月・3月延べ122人）

	実施予定	実施結果
下期	(2)居場所づくり活動のネットワークの構築 社会福祉協議会と共催して、各地区で活動している団体を招いて周知イベントを開催します。	(2)居場所づくり活動のネットワークの構築 社会福祉協議会と連携し、「＼集まれこどもたち／こどもの居場所で遊ぼう！」(11月1日)を開催しました。町内でこどもの居場所づくりの活動をしている6団体が参加し、約50人の親子が来場しました。 また、イベント終了後、各団体が集まり交流会を実施し、今後の町の支援策についての意見交換を行いました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度に補助金制度を設け、町内で活動を行う9団体に交付しました。 ・こどもの居場所として町内で16団体活動中。 ・＼集まれこどもたち／こどもの居場所で遊ぼう！（11/1開催）のイベント終了後、各団体を集めて交流会を実施し、町職員、活動団体同士で意見交換できる関係づくりに努めました。 ・こどもが気軽に集まり、安心して過ごせる地域主体の居場所づくり活動を子育てサイトやInstagram等で周知し、活動の普及に寄与しました。

成果指標	目標値（R7年度末）	実績値（R7年度末）	達成度 ※
子どもの居場所づくり活動	3か所以上	3か所	S
子どもの居場所づくり活動のネットワークの構築	構築（100%）	構築（100%）	S

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

企画趣旨

子どもが孤立しないための居場所づくりを行う人や活動を応援し、地域の人々が主体となった取り組みを広げます。また、学校に通えない児童生徒のために学外の間を整備し、心の居場所や学びの機会を提供します。

成果目標（令和7年度までに）

常設の教育支援センター（適応指導教室）の設置

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 地域・学校の実態把握及び教育支援センター（適応指導教室）の在り方の検討	教育推進課	→				
2. 子育て支援課及び福祉課との連携体制の構築（調査研究・ネットワーク構築）	子育て支援課 教育推進課 福祉課	→				
3. 必要な施設改修・設備・備品等の整備及び人材の確保	教育推進課	→				
4. 包括的な支援体制の構築及び拡充の検討	教育推進課	→				
5. 教育支援センター（適応指導教室）設置条例の制定	教育推進課	→				
6. 教育支援センター（適応指導教室）の開設及び運用	教育推進課	→				

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)包括的な支援体制の構築及び拡充の検討 学校はもとより関係他課や諸機関との情報交換・共有を適宜行い、個々の児童生徒の状況に応じたよりよい支援ができるよう、引き続き取り組んでいきます。</p>	<p>(1)包括的な支援体制の構築及び拡充の検討 学校をはじめ、子育て支援課等の関係機関と適宜情報交換・情報共有を行い、連携を図りながら支援体制の充実に努めました。これにより、個々の児童生徒の状況や課題に応じたきめ細かな支援を実施することができました。</p>
	<p>(2)教育支援センターの開設及び運用 これまでの運用実績を生かしながら、利用者のニーズに合わせて支援を行い、安定的・継続的な運用ができるよう、引き続き取り組んでいきます。</p>	<p>(2)教育支援センターの開設及び運用 利用者一人一人のニーズや状況に応じた支援を行い、安定的かつ継続的な運用に努めました。令和7年度は本通級が18人となり、個々の児童生徒に対して適切な支援を行うとともに、安心して通級できる環境づくりを推進しました。</p>
		<p><input checked="" type="checkbox"/>完了 <input type="checkbox"/>一部未完了 <input type="checkbox"/>未完了</p>

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 教育支援センター設置。 ・教育支援センターにおいて、利用者一人一人の状況に応じた支援を継続的に実施した結果、本通級の利用者数は令和5年度16名、令和6年度18名、令和7年度18名と推移し、毎年20名近い児童生徒に活用されています。 ・長期間不登校であった児童生徒が、教育支援センターの利用を通して外出や学習に取り組むことができました。さらに、保護者からも「外に出て学習する機会が得られ、大変ありがたい」との声が寄せられるなど、本事業の有効性が確認できました。

成果指標	目標値（R7年度末）	実績値（R7年度末）	達成度 ※
常設の教育支援センター（適応指導教室）の設置	設置（100%）	設置（100%）	S

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

企画趣旨

地域づくりを担う人材やグループを生み出すため、様々な世代が定例的に集まり、地域の課題ややりたいことなどを語り合う場を設けます。様々な学び合いや実験的な取り組みを生み出し、参加者同士が触発される場とします。

成果目標（令和7年度までに）

新たなグループ 10 団体

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 実施方法の検討	地域支援課 指定管理者	→				
2. モデル事業の実施	地域支援課 指定管理者	→				
3. 運用の開始、随時見直しの実施	地域支援課 指定管理者	→				

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	運用の開始、随時見直しの実施 これまでの取組の評価検証結果を踏まえ、今後の事業の方向性や取組を検討します。	運用の開始、随時見直しの実施 継続実施する「地域の力となる地区コミュニティセンター事業」において本事業趣旨を引継ぎ、地区コミュニティセンター事業構築のなかで人材育成等に取り組みます。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・「進修館の修繕についてみんなで考えよう」で、市民の手により、木橋、窓枠の塗装を行いました。 ・「キャンドルナイト in 進修館」を、NPO団体、一般と協働して実行委員会形式で実施しました。 ・「進修館をアートで彩る」で、日工大と協働で子ども達がデザインした「ひかるふしぎないきもの」のデジタルマッピングを実施しました。 ・「ロビー活用プロジェクト」で、「私のへそ本三冊展」を2回実施してトークセッションを実施しました。

成果指標	目標値（R7 年度末）	実績値（R7 年度末）	達成度 ※
新たなグループ	10 団体	5 団体	C

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

企画趣旨

定年を迎えた世代が今までつながりが希薄であった地域で生き生きと活躍するため、地域デビューのきっかけづくりとなるイベントやワークショップなどを開催します。

成果目標（令和7年度までに）

地域活動を始めた人 100人

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. シニアはじめて講座の開催	健康介護課 社会福祉協議会		→			
2. 縁じょい通信の発行	健康介護課 社会福祉協議会	→				
3. 縁じょい交流会の開催	健康介護課 社会福祉協議会	→				

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)シニアはじめて講座の開催 シニアはじめて講座（買い物支援サポーターとスローショッピングの仕組みづくり）を開催します。</p>	<p>(1)シニアはじめて講座の開催 シニアはじめて講座として、買い物支援勉強会を第1回 10/8（木）第2回 11/13（木）第3回 12/9（火）第4回 1/23（金）に開催。2月、3月実施のお試し買い物支援の支援者として4名つなげることができました。来年度以降も月1回のお試し支援と定期的な振り返りを実施し、支援者を増やしていきます。</p>
	<p>(2)縁じょい通信の発行 地域における活動に関心を持っていただくため、身近な情報を掲載した「縁じょい通信」（1月予定）を発行します。</p>	<p>(2)縁じょい通信の発行 1月に縁じょい通信を600部発行し、活動参加の機運を高め、2・3月に開催の講座への参加促進を図ることができました。</p>
	<p>(3)縁じょい交流会の開催 縁じょいメンバーの企画による住民主体の新たな交流会（10月19日、11月30日）の開催に向けて準備を行い、開催します。</p>	<p>(3)縁じょい交流会の開催 10/19、11/28、3/7に縁じょい交流会を開催し、縁じょいメンバーや地域活動をしている方との顔づくりの機会となりました。来年度は2か月に1回のペースで交流会を開催していきます。</p>
		<p><input checked="" type="checkbox"/>完了 <input type="checkbox"/>一部未完了 <input type="checkbox"/>未完了</p>

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・シニアはじめて講座を毎年開催し、開催後、すぐには活動できないが、縁じょいメンバーに新規登録した方、すぐに活動を始めた方など、活動へのきっかけとなりました。 ・縁じょい通信を年3回発行し、地元の活動や活動のきっかけとなる講座の案内を行い、地元での活動に参加する機運を高めることができました。 ・顔づくりのきっかけとして縁じょい交流会を年1回開催したほか、令和7年度から2か月に1回、すてっぷ宮代を活用し、小規模な交流会を複数回開催することで、仲間づくり、つながりをもてる場をつくりました。引き続き、仲間づくりができる場としての認知度を高めていきます。

成果指標	目標値（R7年度末）	実績値（R7年度末）	達成度 ※
地域活動を始めた人	100人	64人	B

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

企画趣旨

再整備される旧ふれ愛センターを拠点に、社会福祉協議会と連携して、今日的な社会課題に対応したセミナーやイベントを開催し、ボランティアの裾野を広げます。ワークショップや交流会など、福祉団体同士が連携するきっかけとなるプラットフォームづくりも支援します。

[里山体験事業編、移築民家活用編との連携事業]

成果目標（令和7年度までに）

- ボランティアの育成 50人以上
- 福祉推進員の確保 30人以上
- 福祉団体の連絡ネットワークの発足

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 社会課題に対応したセミナーやイベントを開催	福祉課 社会福祉協議会	—————▶				
2. 福祉団体同士が連携するきっかけとなるプラットフォームづくり	福祉課 社会福祉協議会	—————▶				

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)社会課題に対応したセミナーやイベントの開催 生活困窮者やひとり親世帯、その他課題を抱える方など、社会的課題への対応として、ボランティア養成講座を開催します。</p> <p>【町】 社会福祉協議会と連携して養成講座等の調整を行います。また、見守りサポーターと福祉関連課や民生委員児童委員との連絡調整を行います。</p> <p>【社会福祉協議会】 学生ボランティア関連事業やボランティア体験プログラム等の養成講座を実施するとともに、「みやしろワンチームプロジェクト(M1プロジェクト)」において、認知症をテーマにした動画を作成し、関係者に向けた勉強会等を実施します。また、見守りサポーター等を対象に、認知症サポーター養成講座を実施します。</p>	<p>(1)社会課題に対応したセミナーやイベントの開催 社会福祉協議会が実施している以下の事業を連携・支援しました。</p> <p>○福祉推進員（見守りサポーター） 地域で誰もが安心した生活を送れるよう見守りサポーターの募集・確保を継続しました。また、見守りサポーター向けの研修等を実施しました。 (サポーター登録数) 個人 154人、団体 37,827人、事業所 40店</p> <p>○ボランティア関連事業 日本工業大学と連携し、学生の情報ボランティアによる「スマホ・PCなんでも相談会」を10月～12月の54日開催し、学生ボランティア58人が参加し、475件の相談に応じました。</p> <p>○認知症をテーマにした勉強会 認知症をテーマに、認知症の対応の仕方や今後の取り組み等の動画を作成し、試写会を実施しました。</p>

	実施予定	実施結果
下期	(2)福祉団体同士が連携するきっかけとなるプラットフォームづくり 町、社会福祉協議会、福祉団体等で連携し、「西原自然の森フェスタ&M-1まつり」を開催します。また、プラットフォームづくりに向けて、福祉団体同士の交流機会の検討・調整を行います。	(2)福祉団体同士が連携するきっかけとなるプラットフォームづくり ○西原自然の森フェスタ&M1まつり 町、社会福祉協議会、福祉団体等が連携した西原自然の森フェスタ&M1まつりを11月16日に開催し、すてっぴ宮代活動チームの団体等33団体が参加しました。 ○事業所との交流会 社会福祉協議会において町内で福祉活動を推進している事業所と情報交換会等を行いました。(10月5日・2月17日)
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・「すてっぴ宮代」を拠点に、ボランティア養成講座の実施や、学生によるスマホ相談会、派遣制度の構築、継続した福祉推進員（見守りサポーター）の募集を行い、地域住民による見守り体制の整備を推進しました。 ・福祉団体連携のプラットフォームとして「すてっぴ宮代活動チーム」を組織し、同チームを運営主体とした「西原自然の森フェスタ」を開催しました。 ・一連の事業を通じ、「すてっぴ宮代」が地域福祉の拠点として広く認知されるとともに、ボランティアの裾野の広がりや福祉団体間のネットワークの形成につながりました。

成果指標	目標値（R7年度末）	実績値（R7年度末）	達成度 ※
ボランティアの育成	50人以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア関連講座受講者累計 40人 ・学生ボランティア派遣制度への登録者数 117人 ・学生ボランティアによる相談会実人数 58人 	S
福祉推進員の確保	30人以上	個人 154人 団体 37団体(827人) 事業所 40か所	S
福祉団体の連絡ネットワークの発足	発足（100%）	すてっぴ宮代活動チーム発足（100%）	S

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

若い世代の健康づくり促進事業

健康介護課

企画趣旨

生涯を通じて健康で活気ある日々を過ごすためには、若いうちから健康に対する意識をもつことが大切です。若い世代（20代～40代）の健康への関心を高めるため、オンラインによる教室や相談などライフスタイルに合わせたアプローチをします。

成果目標（令和7年度までに）

20代～40代で健康づくりに取り組んでいる人の割合 令和3年度アンケート調査から10%増

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. オンライン相談事業の実施	健康介護課	—————▶				
2. 若い世代の健康に関する情報収集	健康介護課	▶				
3. 新規健康づくり事業の実施方法及び「健康マイレージ事業」利用拡大に向けた取組内容の検討	健康介護課	▶				
4. 検討結果に基づき、各種健康づくり事業の積極的周知及び実施	健康介護課		—————▶			
5. アンケート調査による評価・検証	健康介護課					▶

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	(1)オンライン相談事業の実施 引き続き、広報やホームページ等で周知を行い、要望に応じて相談事業を行います。	(1)オンライン相談事業の実施 広報やホームページ、チラシ、保健センターガイドで周知を行いました。
	(2)検討結果に基づき、各種健康づくり事業の積極的周知及び実施 健康マイレージ事業では、11月にALK00と連動したウォーキング教室を開催し、ウォーキングによる健康づくりを促します。 その他、ホームページに掲載している親子向けレシピを更新し、家庭における献立づくりのサポートを行います。	(2)検討結果に基づき、各種健康づくり事業の積極的周知及び実施 ・「秋のウォーキング教室」（11月10日・参加者11名）を開催しました。 ・ホームページで発信している親子向けレシピには、新たに12品を掲載しました。また、乳幼児健診等で来所された保護者に紙媒体によるレシピを配布し、家庭における献立作成のサポートを行いました。
	(3)アンケート調査による評価・検証 若い世代の健康づくりに関するアンケート調査を実施し、結果に基づき評価・検証を行います。	(3)アンケート調査による評価・検証 若い世代の健康づくりに関するアンケート調査を実施し、結果に基づき評価・検証を行いました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果

若い世代の健康への関心を高めるため、継続した各種教室や相談などライフスタイルに合わせたアプローチをした結果、若い世代（20代～40代）の健康への関心を高めることが出来ました。

成果指標	目標値（R7年度末）	実績値（R7年度末）	達成度 ※
（令和3年度アンケート調査） 20代～40代で健康づくりに 取り組んでいる人の割合 （35.2%）	令和3年度アンケート調査 から10%増	令和7年度アンケート 調査結果 47.6% （+12.4%）	S

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

企画趣旨

互いに人権を尊重しあい、真に豊かな安心して暮らしていける社会を実現するため、人権や平和に関する啓発活動を実施します。

成果目標（令和7年度までに）

人権・平和に関する啓発事業に参加した市民の意識・関心が向上した割合 80%

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 人権尊重意識の啓発事業	総務課 教育推進課	→				
2. 学校における人権教育	総務課 教育推進課	→				
3. 生涯学習における人権教育	総務課 教育推進課	→				
4. 男女共同参画プランの推進	総務課	→				
5. 性的少数者（LGBT）への理解促進と支援	総務課	→				
6. 平和への意識を高めるための啓発活動の推進	総務課	→				

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)人権尊重意識の啓発事業 正しい人権感覚を養うため、町職員や教職員等を対象に研修会（2月）を実施します。</p>	<p>(1)人権尊重意識の啓発事業 2月3日に人権啓発講演会「盲導犬の一生」を開催し、125名の参加がありました。</p>
	<p>(2)(3)学校・生涯学習における人権教育 人権意識の高揚と差別のない明るい社会づくりの推進を図るため、児童生徒の作成した人権作文の選考を行い、人権文集「あおぞら」の編集・刊行を行うとともに、代表児童生徒による人権作文発表会(12月)を開催します。</p>	<p>(2)(3)学校・生涯学習における人権教育 人権意識の高揚と差別のない明るい社会づくりの推進を図るため、児童生徒の作成した人権作文の選考を行い、人権文集「あおぞら」の編集・刊行を行いました。併せて代表児童生徒8人による人権作文発表会を12月4日に開催しました。</p>
	<p>(4)男女共同参画プランの推進 男女共同参画の意識づくりや固定的性別役割分担の解消を図るため、男女共同参画社会推進会議のメンバーとともにセミナーの実施及び情報誌を発行（広報2月号に封入）します。</p>	<p>(4)男女共同参画プランの推進 3月15日に「睡眠と健康」をテーマにした男女共同参画セミナーを開催し、45名の参加がありました。また、男女共同参画情報誌ふうらふがを広報2月号に封入しました。</p>
	<p>(5)性的少数者（LGBT）への理解促進と支援 性的少数者への理解を深めるため、人権・男女共同参画研修（1月）とともにパネル展示を実施します。</p>	<p>(5)性的少数者（LGBT）への理解促進と支援 1月29日に性的少数者への理解を深める研修を開催し、43名の職員が参加しました。また、会場内にパネル展示を実施しました。</p>
	<p>(6)平和への意識を高めるための啓発活動の推進 令和8年度の平和事業について啓発方法を検討していきます。</p>	<p>(6)平和への意識を高めるための啓発活動の推進 1月22日に「戦火に生きる人びとを見つめて」と題したウクライナの講演会を須賀中学校で開催し、86名の生徒が参加しました。</p>

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会 15 回、平和写真展 5 回、平和講演会 1 回、男女共同参画情報誌 5 回、男女共同参画セミナー 5 回、人権作文文集 27～31 集発行、人権作文発表会 4 回、人権教室 5 回 ・研修等各種取組を通じて、市民、職員、教職員等に人権や男女共同参画の意義等の理解が広がりました。

成果指標	目標値（R7 年度末）	実績値（R7 年度末）	達成度 ※
人権・平和に関する啓発事業に参加した市民の意識・関心が向上した割合	80%	R7 100%（盲導犬） 96%（平和展）	S

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

チームみやしろ会議

企画財政課

企画趣旨

東武動物公園駅西口周辺エリアを対象に、東武動物公園や日本工業大学などのキープレイヤー同士が連携する組織を設立し、地域のブランド力向上やイメージアップを図ります。

成果目標（令和7年度までに）

チームみやしろ会議をきっかけとした新たな活動の誕生 年3件

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. チームみやしろ会議のコンセプトの整理と会議の設置	企画財政課	→				
2. チームみやしろプラットフォームの検討と試行	チームみやしろ会議		→			
3. チームみやしろプラットフォームの本運用	チームみやしろ会議			→	→	→
4. チームみやしろ会議のプレイヤーによる実践	チームみやしろ会議		→	→	→	→

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	(1) チームみやしろプラットフォームの本運用 「この人の話が聞きたい」を定期的（2回）に開催します。	(1) チームみやしろプラットフォームの本運用 「この人の話が聞きたい」をコミュニティセンター進修館ロビーで定期的（11月・2月の2回、参加者 延べ93名）に開催しました。
	(2) チームみやしろ会議のプレイヤーによる実践 引き続き、チームみやしろ会議で繋がった方同士で始めた新たな活動の実例を調査します。また、町ホームページやSNS等でこれまでの実例を紹介し、活動のきっかけづくりを行います。	(2) チームみやしろ会議のプレイヤーによる実践 チームみやしろ会議で繋がった方同士で始めた新たな活動の実例を調査し、5件の報告がありました。また、新たな活動やつながりを生み出すきっかけづくりのひとつとして、これまでの実例を1件取材し、町ホームページやSNS等で紹介しました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・「この人の話が聞きたい」 開催回数：全 30 回、参加者数：延べ 800 名、登壇したゲストスピーカー：全 60 組 ・「この人の話が聞きたい」をきっかけに、町内のキープレイヤーの発掘、プレイヤー同士のつながりを生むことができました。チームみやしろ会議をきっかけとした新たな活動は全 24 件であり、様々なつながりをもったキープレイヤーにより魅力的な活動が行われています。

成果指標	目標値（R7 年度末）	実績値（R7 年度末）	達成度 ※
チームみやしろ会議をきっかけとした新たな活動の誕生	年 3 件	R5 年度：5 件 R6 年度：13 件 R7 年度：6 件 ※本運用後に誕生した新たな活動を実績とする。	S

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

企画趣旨

現実に起こりうる災害を想定し、行政、消防団はもとより、自主防災組織、学校等の関係団体とともに、実際の避難行動の一連の流れを体験する防災訓練を実施し、防災力を強化します。

成果目標（令和7年度までに）

自主防災会訓練実施率 100%

我が家の避難計画「マイ・タイムライン」の作成率 50%

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 合同の実働訓練の実施	くらし安全課 関係団体	→				
2. 実践的なテーマによる自主防災会の訓練の実施	くらし安全課 自主防災会	→				
3. 実践的な訓練等を踏まえた防災体制の見直し	くらし安全課	→				
4. 民間企業等との災害協定の拡充	くらし安全課	→				

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1)合同の実働訓練の実施 上期に実施した実働訓練の評価検証を行い、令和8年度の訓練に向けて検討を行います。</p>	<p>(1)合同の実働訓練の実施 7月30日に課長級を対象として実施した災害対策本部運営訓練について評価検証を行い、1月21日、副課長・主幹級職員を対象に災害対策本部の運営訓練を実施し、災害時の対応要領の習得に努めました。（参加人数：25名）</p>
	<p>(2)実践的なテーマによる自主防災会の訓練の実施 自主的な活動がままならない自主防災組織に対して町が介入し、自主防災組織の訓練実施を促進します。 また、職員が訓練等を訪問し、災害時に備えたマイ・タイムラインの普及を促します。</p>	<p>(2)実践的なテーマによる自主防災会の訓練の実施 自主防災組織の活動状況を把握し、自主的な活動が行われていないところへアンケートの実施、他の自主防災組織の訓練見学への促し、訓練企画時のプランの相談から提案、訓練促進の活動を実施しました。結果昨年度と比較し新たに4団体が訓練を実施しました。 また、町職員が地区の訓練等に4回訪問し、マイ・タイムラインの普及に努めたほか、2月10日の自主防災組織連絡協議会では、自主防災組織の会長に対し、引継ぎマニュアルの配布を行い、次年度への引継ぎ支援を行いました。</p>

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p>(3)実践的な訓練等を踏まえた防災体制の見直し 防災啓発を目的にスポーツフェスティバル（10月）に参加し、若い世代や親子連れなどの防災意識向上を主眼とした、気軽に参加できる防災学習・訓練の場を提供する「防災ブース」を実施します。</p> <p>(4)民間企業等との災害協定の拡充 既存の災害協定内容の確認を行い、必要な支援内容の検証を行います。 また、協定の拡充に向けて検討を行います。</p>	<p>(3)実践的な訓練等を踏まえた防災体制の見直し 10月12日のスポーツフェスティバルに防災ブースを出展し、若い世代や組織未加入者へ向けての啓発活動を行いました。（参加者210名）</p> <p>(4)民間企業等との災害協定の拡充 10月15日に三井住友海上火災保険株式会社と災害時における罹災証明発行業務のための情報提供に関する協定を締結しました。 12月18日に（公）全日本不動産協会埼玉県本部県東支部及び（公）埼玉県住宅建物取引業協会埼玉葛支部と災害時における民間賃貸住宅の被災者への提供に関する協定を締結しました。（所管：未来のまち整備課）</p>
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・マイタイムラインの普及啓発を各種イベントや地区防災訓練で行うだけでなく、公式 LINE でも作成できるようにすることで、マイタイムライン作成率の向上に努めました。 ・防災協定を合計5件締結しました。 ・自主防災組織連絡協議会を合計10回開催し各自主防災組織の会長へ事業実施のサポートを実施することで、自主防災会訓練実施率の向上に努めました。

成果指標	目標値（R7年度末）	実績値（R7年度末）	達成度 ※
自主防災会訓練実施率	100%	100%	S
我が家の避難計画「マイ・タイムライン」の作成率	50%	78.6%	S

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

企画趣旨

買い物や電球交換など高齢者の日常生活のちょっとした困りごとをサポートする地域内の助け合い活動の組織化を支援し、広げていきます。

成果目標（令和7年度までに）

新たな助け合い活動を実施するグループ 5 団体以上

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 高齢者向けサービスの情報伝達	健康介護課 社会福祉協議会		→			
2. 助け合い活動グループの育成・支援	健康介護課 社会福祉協議会		→	→	→	→
3. 生活支援の担い手の発掘	健康介護課 社会福祉協議会			→	→	→

■工程の見直し（令和5年度）

高齢者のニーズに応じた様々な助け合い活動を広げていくため、実施項目3に「生活支援の担い手の発掘」を追加しました。

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	<p>(1) 高齢者向けサービスの情報伝達 引き続き、高齢者相談センターや役場窓口、イベント等で「高齢者困りごとサポート冊子」改訂版を配布します。</p> <p>(2) 助け合い活動グループの育成・支援 困りごとサポート隊の活動支援を目的とした補助金制度についての周知を行うとともに、引き続き、活動 PR や隊員の確保等の支援を実施します。</p>	<p>(1) 高齢者向けサービスの情報伝達 高齢者相談センターの戸別訪問時、相談センター、役場窓口、9/12～10/13 あしたのわたしと認知症展 10/1 認知症オレンジフェア 2/6 介護入門研修にて配布し、必要な情報を届けることができました。</p> <p>(2) 助け合い活動グループの育成・支援 引き続き、補助金制度については周知を行いました。また、既存の助け合い活動グループ（御用聞き、宮代町プログラミング・ラボ）からの相談に応じ、活動 PR 等を実施しました。</p>

	実施予定	実施結果
下期	(3)生活支援の担い手の発掘 スーパーでの買い物支援サポーター育成とスローショッピングの仕組みづくりを兼ねた講座（10月9日、11月13日、12月9日）を開催し、令和8年以降、カスミ宮代店又は東武ストア東武動物公園駅前店でスローショッピングを試験的に実施します。	(3)生活支援の担い手の発掘 シニアはじめて講座として、買い物支援勉強会を第1回10/8（木）第2回11/13（木）第3回12/9（火）第4回1/23（金）に開催。2/16（月）東武ストア東武動物公園駅前店で、3/16（月）カスミフードスクエア宮代店で、お試し買い物支援を実施。勉強会参加者が支援者となり、勉強会で話し合った支援方法を試す機会となりました。来年度以降も月1回お試し買い物支援を実施していきます。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> 生活支援体制整備協議体のメンバーにより「高齢者が生活で困ったときに見る冊子」をコンセプトに、高齢者困りごとサポート冊子を、令和4年度から発行しました。今後も引き続き、2年に1度、内容を見直しながら高齢者の困りごとをサポートしていきます。 令和5年度に姫宮南団地内で活動する地域交流サロンや老人クラブで、生活に困っている方のニーズ把握と団地内の住民で支援者を募り、困りごとサポート隊結成に向けた勉強会開催を支援し、地元で活動する生活支援団体が1つできました。 令和7年度に助け合い・困りごとサービス事業補助金を創設し、事業開始に必要な経費補助と運営費補助を行い、生活支援団体を増やしていくための環境整備ができました。

成果指標	目標値（R7年度末）	実績値（R7年度末）	達成度 ※
新たな助け合い活動を実施するグループ	5団体以上	4団体	A

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

日工大サイエンスプロジェクト

教育推進課

企画趣旨

小中学校の理科の授業において、大学の施設や設備を使った専門家による科学体験を通して、子どもたちが興味をもって、自ら学ぶプロジェクトを始動します。

成果目標（令和7年度までに）

理科が好きという児童生徒 80%以上（アンケート調査）

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 日本工業大学の設備、先生に関する情報収集	教育推進課	→				
2. 学校の教育課程の確認	教育推進課	→				
3. 必要な支援方法の検討	教育推進課		→			
4. 日本工業大学、学校、教育委員会との情報交換会の実施	教育推進課		→			
5. 日工大サイエンスプロジェクトの実施	教育推進課		→			

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	日工大サイエンスプロジェクトの実施 【小学校の授業の実施】 小学校6年生を対象に、日本工業大学において、「環境」をテーマとした講義及び見学等を実施します。 【中学校の授業の実施】 中学校2年生を対象に、日本工業大学において、「電気」「科学」をテーマにした講義及び体験等を実施します。	日工大サイエンスプロジェクトの実施 【小学校の授業の実施】 小学校6年生を対象に、令和8年2月25日（水）、2月26日（木）に日本工業大学において実施しました。エコミュージアムを活用した見学形式で、フードロスやマイクロプラスチックについて学びました。 【中学校の授業の実施】 中学校2年生を対象に、令和8年3月4日（水）、3月5日（木）に、日本工業大学において、「電気」「科学」をテーマにした講義及び体験等を実施しました。 ①「電子顕微鏡」での観察を通して光学顕微鏡との違いを紹介 ②「高電圧実験」をテーマとして放電（雷）や絶縁体についての内容を含み、学生実験棟で簡単な実験の演示 ③「デジタル信号における音の世界」をテーマとして、デジタル信号について、マイクロコンピュータを用いた音の生成や簡単な楽曲の再生 ④光学顕微鏡を用いて植物の細胞を観察し、細胞のつくりや特徴について学習
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員研修を通して教員の授業力向上を図り、授業の質を高めるとともに、児童生徒が理科の楽しさに気付く授業づくりにつなげることができました。 ・日本工業大学の施設・設備を活用した専門家による科学体験を通して、新たな知識を得る楽しさや、難しさを感じ、より深く学びたいという興味・関心を高めることができました。

成果指標	目標値（R7 年度末）	実績値（R7 年度末）	達成度 ※
（アンケート調査） 理科が好きという児童生徒	80%以上	理科に興味があった 小学生 82.2% 中学生 89.7% (R7 末実績)	S

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

公共施設マネジメント計画 2.0

企画財政課

企画趣旨

平成 23 年 11 月に策定した公共施設マネジメント計画から 10 年。新たなマネジメント計画をつくり今後の公共施設のあり方、施設の機能転換など、中期的なビジョンを定めます。

成果目標（令和 7 年度までに）

公共施設マネジメント計画 2.0 の策定

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 策定方針の検討	企画財政課	→				
2. 公共施設マネジメント会議の開催	企画財政課	→				
3. 無作為市民ワークショップの開催	企画財政課	→				
4. 公共施設マネジメント計画の策定	企画財政課	→				
5. 計画に基づく再編へ向けた準備	企画財政課		→			

進捗状況（令和 7 年度）

	実施予定	実施結果
下 期	計画に基づく再編へ向けた準備 公共施設の更新や再編の検討にあたっては、第 2 期公共施設マネジメント計画や個別施設計画と照らし合わせながら検討が進められているか、関係部署とのヒアリング等を通して情報の共有と方向性の確認を行います。 また、健全で持続可能な財政運営を実現するため、更新費用の削減や国や県の財政支援の活用等を行います。	計画に基づく再編へ向けた準備 公共施設の更新や再編の検討にあたり、関係部署とのヒアリング等を通して情報共有と方向性の確認を行いました。 また、健全で持続可能な財政運営の実現に向けて、老朽化する公共施設の大規模修繕や維持管理に適切に対応するための予算措置を行いました。
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設マネジメント会議やワークショップを開催し、第2期公共施設マネジメント計画を策定しました。（令和4年3月） ・公共施設の基本情報の共有と方向性の見える化を図るため、個別施設計画を策定し（令和5年3月）、各部署で所管している公共施設のカルテ情報（利用状況、運営状況、修繕履歴等）の更新を行いました。 ・公共施設の更新や再編にあたり、関係部署との情報共有や予算措置を行いました。

成果指標	目標値（R7年度末）	実績値（R7年度末）	達成度 ※
公共施設マネジメント計画2.0の策定	策定（100%）	策定（100%）	S

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

企画趣旨

社会の変化に対応した最良な教育環境を子どもたちに提供するために、小中学校の適正な配置を進めていきます。

成果目標（令和7年度までに）

審議会の答申を踏まえた小中学校の適正配置計画の再検討及び見直し
見直し後の小中学校の適正配置計画に基づく取組の実施

実施工程

実施項目	実施主体	実施年度（いつまでに）				
		R3	R4	R5	R6	R7
1. 計画の再検討及び見直し	教育推進課	→				
2. 計画に基づく取組の実施（須賀小学校地域拠点施設の整備）	教育推進課		構想	計画	設計	工事

■工程の見直し（令和5年度）

須賀小学校地域拠点施設の整備が決定したため、実施項目2「計画に基づく取組の実施」の具体化を行いました。

進捗状況（令和7年度）

	実施予定	実施結果
下期	計画に基づく取組の実施 ・須賀小学校地域拠点施設整備推進委員会を開催し、実施設計や建設工事に向けた準備等について、学校や地域の関係者、PTA等と調整を図ります。 ・関係者ヒアリングや須賀小学校地域拠点施設整備推進委員会等の結果を踏まえ、実施設計を作成します。 ・完成した実施設計に基づき、建設工事に向けた発注計画や建築確認申請などの準備を進めます。 ・整備に向けた校舎の一部解体に伴う教室等移転を行うためのエアコン設置等の改修工事を実施します。	計画に基づく取組の実施 ・須賀小学校地域拠点施設整備推進委員会を開催し、実施設計や建設工事に向けた準備等について、学校や地域の関係者、PTA等と調整を図りました。（11月・3月） ・関係者ヒアリングや須賀小学校地域拠点施設整備推進委員会等の結果を踏まえ、実施設計を作成しました。（3月） ・完成した実施設計に基づき、建設工事に向けた発注計画や申請手続きなどの準備を進めました。（10月～3月） ・整備に向けた校舎の一部解体に伴う教室等移転を行うためのエアコン設置等の改修工事を実施しました。（10月～3月）
		<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 一部未完了 <input type="checkbox"/> 未完了

前期実行計画（R3～R7）の最終評価

前期実行計画の主な取組・成果
<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に宮代町立小中学校の適正配置及び通学区域の編成に関する審議会の答申を踏まえた小中学校の適正配置計画の再検討及び見直しを実施し、答申の内容を関係団体や住民の皆様に周知するとともに、庁内の関係課と意見交換を行いました。 ・令和4年度からはこの計画に基づき須賀小学校を複合施設とする再整備に取り掛かりました。関係課と連携し、地域住民や児童、関係者等の声を聴取しながら、令和4年度に基本構想、令和5年度に基本計画、令和6年度に基本設計、令和7年度に実施設計を作成しました。

成果指標	目標値（R7年度末）	実績値（R7年度末）	達成度 ※
審議会の答申を踏まえた小中学校の適正配置計画の再検討及び見直し	検討及び見直し（100%）	検討及び見直し（100%）	S
見直し後の小中学校の適正配置計画に基づく取組の実施	取組の実施（100%）	取組の実施（100%）	S

※達成度 S…100%以上 A…99～76% B…75～51% C…50～26% D…25～0%

第5次宮代町総合計画前期実行計画 最終評価状況一覧表

事業名	達成度	成果指標	目標値(R7年度末)/実績値(R7年度末)	主な取り組み	後期実行計画への位置づけ	担当
西原自然の森活用事業(里山体験事業編)	S	新規ボランティアスタッフの確保	10人以上 / 24人	・「西原自然の森フェスタ」にて里山体験イベント実施 ・社会福祉協議会を通じた新規ボランティア確保、関係構築	終了	環境資源課
	B	里山体験イベントの実施	年3回以上、参加者100人以上 / 合計6件(870人)			
西原自然の森活用事業(移築民家活用編)	D	新たな仕組みに基づく新規事業	年3回以上 / 合計1件(新たな仕組み作成後の活動実績とする)	「西原自然の森フェスタ」にて「旧加藤家」「旧齋藤家」「旧進修館」それぞれの特性を生かした音楽活動や文化財展示、体験講座等実施	終了	教育推進課
新しい村魅力アップ事業	S	新しい村魅力アッププランの策定	策定 / 策定	・新しい村魅力アッププラン策定(令和4年度) ・育苗施設機械設備更新工事、機械庫外壁改修工事実施	継続	
集落で支えあう営農事業	A	宮東・中島地区における20ha以上の農地集積化と基盤整備(100%)	20ha以上の農地集積化と基盤整備(100%) / 46.1haの農地集積化 16.8haの基盤整備	・宮東・中島土地改良組合設立 ・事業計画に基づく整備工事、農地集積実施	継続	産業観光課
宮代農業人材育成事業	C	新規就農者の確保	5人以上 / 2人	・就農希望者の受入実施 ・農業担い手塾入塾前研修制度の創設	継続	
東武動物公園駅西口わくわくロード事業	S	東武動物公園駅西口わくわくロードの完成(100%)	完成(100%) / 完成(100%)	・まちづくり検討会の実施(6回) ・わくわくロード工事実施(デザインマンホール、街路灯フラッグ、イルミネーション、ベンチ)	継続(統合)	まちづくり建設課
まちなかどこでもミュージアム事業	S	飲食店等やアーティストが主体となった「みやしろ芸術祭」の開催	年1回以上 / 合計3回	・令和5年度から「みやしろ芸術祭」を開催 ・「みやしろ芸術祭パートナーシップ補助金制度」の創設	継続	教育推進課
みやしろズームアッププロジェクト	S	地域特派員	10人 / 11人	・みんなが地域の特派員制度創設 ・みやしろ再発見ワークショップの開催や月イチまんまへ出店(魅力発見、発信) ・Instagramの開設	継続	総務課
遊休資源活用プロデュース事業	S	活用実績	10件 / 39件	・庁舎遊休スペース活用計画の作成 ・庁舎有料広告スペース移設(広告主の増加)	通常業務	企画財政課
岸辺遊歩道整備事業	D	(住民意識調査) 公園・遊歩道の整備 満足度	50% / 44.5%(令和6年度住民意識調査)	・岸辺遊歩道等整備方針決定 ・備前堀川のフェンス設置、舗装修繕工事の実施	通常業務	まちづくり建設課
地域のオリジナルパークをつくろう!	S	公園の整備	2か所 / 2か所	・地域や大学等との連携によるワークショップや社会実験等の実施 ・学園台けやき公園、宮代中央公園の整備完了	通常業務	未来のまち整備課
宮代型デマンド交通事業	S	(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査) 高齢者が外出を控えている理由「交通手段がない」の割合	10%以下 / 7.5%	・次期交通モード検討に向けた公共交通需要調査の実施 ・高齢者タクシー助成制度の実施	継続	企画財政課 健康介護課
広域道路ネットワークの整備(都市計画道路整備)	A	(都)春日部久喜線(町道第12号線)の整備完了	完了(100%) / 97%	・(都)春日部久喜線(町道第12号線)の用地買収、整備 ・(都)春日部久喜線(町道第252号線)の都市計画決定、用地買収の実施	継続	まちづくり建設課
	S	(都)春日部久喜線(町道第252号線)の都市計画決定	決定(100%) / 決定(100%)			
東武動物公園駅東口にぎわいロード事業	C	東武動物公園駅東口駅前広場の完成(100%)	完成(100%) / 36%	・物件調査(単価入替等)、鑑定評価実施 ・用地交渉、用地、物件補償の実施 ・駅前広場整備工事の実施設計	継続(統合)	
	A	東武動物公園駅東口通り線の完成(100%)	完成(100%) / 77%			
和戸駅周辺活性化事業	S	土地利用・事業手法の決定	決定(100%) / 決定(100%)	・土地利用推進エリアの見直し(拡大)の実施 ・産業系の土地利用を目指した企業ヒアリングの実施 ・(都)春日部久喜線(町道第252号線)の都市計画決定	継続(統合)	未来のまち整備課
	S	事業区域の決定	決定(100%) / 決定(100%)			
姫宮駅西側周辺活性化事業	S	(都)春日部久喜線(町道第252号線)の都市計画決定	決定(100%) / 決定(100%)			
地域のかとなる地区コミュニティセンター事業	D	地区コミュニティセンターの開設	2か所 / 0か所	事業実施工程の見直しを行い、地区コミセンの開設については「宮代町立小中学校適正配置事業(須賀小学校地域拠点施設整備)」の進捗に合わせる事として整理	継続	地域支援課
小商いはらはじめようチャレンジショップ推進事業	S	町の支援策を利用した起業者	15人以上 / 29人	・起業創業支援講座の開催 ・各種補助金による起業創業支援	通常業務	産業観光課

第5次宮代町総合計画前期実行計画 最終評価状況一覧表

事業名	達成度	成果指標	目標値(R7年度末)/実績値(R7年度末)	主な取り組み	後期実行計画への位置づけ	担当
身近な場所で子育てサロン事業	S	地域主体の子育てサロンの運営	3か所以上 / 3か所	・補助制度による子育て応援隊の自主的なサロン開催支援 ・子育て情報サイト「育てよっ」やSNSの情報更新	継続	
地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業①	S	子どもの居場所づくり活動	3か所以上 / 3か所	・補助制度による地域団体主体の居場所づくり活動支援 ・イベントを通じた交流会を実施し、各団体、町職員同士の関係づくり構築	継続	子育て支援課
	S	子どもの居場所づくり活動のネットワークの構築	構築(100%) / 構築(100%)			
地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業②	S	常設の教育支援センター(適応指導教室)の設置	設置(100%) / 設置(100%)	・教育支援センター設置、開設 ・利用者の実態やニーズに合わせた支援の実施	継続	教育推進課
進修館オープンカレッジ	C	新たなグループ	10団体 / 5団体	地域課題の解決に向けた地域づくりを担う人材やグループの育成、発掘	終了	地域支援課
おかえりなさい! 地域デビュー事業	B	地域活動を始めた人	100人 / 64人	・シニアはじめて講座の開催 ・縁じよい交流会の実施	継続	健康介護課
西原自然の森活用事業(新たな福祉の拠点づくり編)	S	ボランティアの育成	50人以上 / 合計215人	・「西原自然の森フェスタ」の開催 ・「すてつ宮代」を拠点とした講座、イベント、セミナーの実施 ・ボランティア派遣制度の構築	終了	福祉課
	S	福祉推進員の確保	30人以上 / 個人154人 団体37団体(827人) 事業所40か所			
	S	福祉団体の連絡ネットワークの発足	発足(100%) / すてつ宮代活動チーム発足(100%)			
若い世代の健康づくり促進事業	S	(令和3年度アンケート調査) 20代~40代で健康づくりに取り組んでいる人の割合(35.2%)	令和3年度アンケート調査から10%増 / 令和7年度アンケート調査結果47.6%(+12.4%)	若い世代のライフスタイルに合わせた各種教室や相談などの実施	継続	健康介護課
人権・平和推進事業	S	人権・平和に関する啓発事業に参加した市民の意識・関心が向上した割合	80% / R7 100%(盲導犬 96%(平和展))	・町職員や教職員を対象とした人権教育研修会の実施 ・平和への意識を高めるための啓発活動の実施	継続	総務課 教育推進課
チームみやしろ会議	S	チームみやしろ会議をきっかけとした新たな活動の誕生	年3件 / 合計24件(本運用後に誕生した新たな活動を実績とする)	・「この人の話が聞きたい」の定期的な開催 ・会議をきっかけとした新たな活動の誕生	終了	企画財政課
みんなで備える防災力強化促進事業	S	自主防災会訓練実施率	100% / 100%	・マイタイムライン公式LINE申請受付開始 ・自主防災組織連絡協議会の定期的な開催、地区防災訓練の実施支援	継続	くらし安全課
	S	我が家の避難計画「マイタイムライン」の作成率	50% / 78.6%			
高齢者困りごとサポート隊事業	A	新たな助け合い活動を実施するグループ	5団体以上 / 4団体	・高齢者困りごとサポート冊子の定期的な発行 ・助け合い・困りごとサービス事業補助金創設	継続	健康介護課
日工大サイエンスプロジェクト	S	(アンケート調査) 理科が好きだという児童生徒	80%以上 / (理科に興味があった)小学生82.2%、中学生89.7%(R7未実績)	・教職員研修を通じた授業力向上 ・日本工業大学での科学体験を通じた理科への興味・関心向上	継続	教育推進課
公共施設マネジメント計画2.0	S	公共施設マネジメント計画2.0の策定	策定(100%) / 策定(100%)	・第2期公共施設マネジメント計画策定 ・公共施設のカルテ情報(利用状況、運営状況、修繕履歴等)の更新	継続	企画財政課
宮代町立小中学校適正配置事業	S	審議会の答申を踏まえた小中学校の適正配置計画の再検討及び見直し	検討及び見直し(100%) / 検討及び見直し(100%)	・小中学校の適正配置計画の再検討及び見直しの実施 ・須賀小学校を複合施設とする再整備の実施(基本構想、基本計画、基本設計、実施設計)	継続	教育推進課
	S	見直し後の小中学校の適正配置計画に基づく取組の実施	取組の実施(100%) / 取組の実施(100%)			

※ S評価:71%、A評価:10%、B評価:5%、C評価:7%、D事業:7%
 ※ 達成度(S…100%以上 A…99~76% B…75~51% C…50~26% D…25~0%)

全32事業